



2014.6.22 初聖体

「初聖体、子供たちの信仰の成長の第一歩」

助任フック神父

良い習慣になつていくようですが、毎年、キリストの聖体の主日を祝うとともに、あちこちで子供たちのための初聖体の日にする小教区は少なくはないようです。今年の南山教会でも、大勢の信徒の皆さんに見守られる中で、教会からの6名の子供たちが初めてキリストの御体を頂くことになりました。

初聖体を迎えるということは、子供たちにとって信仰の成長の大きな一歩だと言えるでしょう。その信仰の成長の変化は外面的にも内面的にもあります。外面的には、初聖体の日から子供たちは毎回の感謝の祭儀において、ともに行列して、もはや司祭からの祝福を受けるのではなく、他の信徒と同じく自分の意思で、「キリストのからだ」という信仰の確認に対して自分の言葉で「アーメン」と信仰を宣言しながら、自分の手で、ご聖体をいただくようになります。内面的には、聖体拝領によって完全に教会の頭であるキリストとその肢体である信仰共同体との交わりに入り、人生の最後までキリスト者の旅路の糧としていただき、栄光あるキリストの姿へと変えられていきます。

その意味では、信仰共同体の1人として感謝の祭儀に与り、そして何かの重大な妨げがなければ、聖体拝領する義務を果たすというより、むしろ恵みを頂くということや、またキリスト者の基本的な務めと言えます。

そのため、大人のわたしたちはもちろん、まだ信仰に対する自己理解の不十分なわたしたちの子供たちが頻りにキリストの聖体を拝領できるように、初聖体を迎えた後にも、毎回、子供たちを教会に連れていき、教会学校に参加させたり、そして適切な時に、良心の糾明をさせたりするのも重要な努めです。それらの努めは単なる教会のためではなく、子供自身の成長につながっていくものとも言えるでしょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

初聖体おめでとうございます



初聖体

2014年6月22日

1. ルルドの MARIA 成井 実和子
2. アントニオ VANG VU HY PHUC
3. MARIA VU THIEN TRANG
4. 幼きイエスの聖テレジア 服部 愛
5. ベルナデッタ 服部 優
6. ルイザ 鄭 翼

初聖体を受けて



アントニオ フック
ぼくは、ごせい体をいただく
ことができました。

はつせい体の前に教会学校
で、イエス様のことについて、
しん父さまから、いろいろなこ
とを教えてもらいました。

これから、いつも、イエスさ
まがぼくの心と体の中にいらっ
しゃるので、じぶんの中で、つ
よい心をもちつづけていきたい
とおもいます。

ルイザ てい つばさ

みんなとべんきょうして、ま
い日おいのりをして、はつせい
体をうけることができました。

はじめはきんちようしまし
た。パンを食べたらおいしかっ
たです。

さいごはともだちがいつぱい

できました。はつせい体をうけ
ることができてよかったです。

ルルドのマリア なるい みわ子

わたしは、はじめてごせい体
をいただいたとき、とてもドキ
ドキしました。あんなに大ぜい
の前に立って、やくそくのこと
ばを言うのもとても緊張しまし
た。

おとうさんやおかあさんがご
せい体をいただいているのを見
て、「ごせい体ってどんなあじ
なのかなあ。早くたべてみたい
なあ。」と思っていました。

はつせい体をうけるべんきよ
うがはじまるのはとてもたのし
みだったけど、たくさんのこと
をおぼえるのが大へんでした。

はじめていただいたごせい体
のあじは、思ったよりパサパサ
していて、でもやっぱりパンの
あじでした。これからまい週日
曜日がとても楽しみですよ。

かみさま、しんぶさま、リー
ダー、ありがとうございます。

スカウトバザー大成功だ！

伊藤 宗太郎

去る6月8日(日)のスカウ
トバザーは大盛況に終わった。
入梅でぐずついた天候にヒヤヒ
ヤしたが、神様のお恵みで当日
は晴れ晴れした天気。アリガト
ウ！バザーの成績も上々だ。

例年通りボーイ活動資金確保
と信者や近隣の方々の親睦を
図って開催した。準備に数週間
前からスカウト、隊長、リー
ダー、友人、父兄家族たち総勢
60余名を動員。おかげさま

で、教会信徒の皆さんや南山小
学校父兄の方々のご好意で多く
の寄付の品々を戴いた。お金ま
でも、アリガトウございます！

出し物に新品コーナー、掘り
出し市、食べ物模擬店など例年
の趣向に、マーチン神父様の
ガーナ民族踊り、シャワー・
シヨックゲームなどが加わっ
た。少し暑かったたのでワイン、

ビール、ジュース、お茶などが
バカ売れだ。ワイワイ、キャー
キャーと賑やかに大騒ぎ。食券
も昼までにほとんど完売して、
バザーの業績は純益42万円余に
達した。

ただ、新品コーナーの売り場

でトラブル発生！プロの業者ら
しき人が商品の数量や価格に苦
情を言い出した。しかし、いち
いち対応してたら、オーブン間
際の忙しい売り場で混乱が予想
された。担当者は毅然たる態度
で「イヤなら買って貰わなくて
もよい！」と宣言。当人はしど
しぶ商品を買って退場！ヤレヤ
レ怖かったね！

いずれにしても、バザーは大
成功で終了した。オツカレサマ！

青年会遠足

山田恵美子

6月8日、マーティン神父様と
青年7人でモリコロパークに行き
ました。天気に恵まれ、緑に囲ま
れたの昼食は、より美味しく感じ
られました。また、普段あまり話
さない仲間たちと会話をするな
ど、絆を深めることができました。

昼食後は、芝生の広場で身体
を動かしたり、おやつを食べた
りと、時間に追われる日常生活
から解放され、のんびりと過ご
すことができました。心休まる
時間を与えてくださった神に感
謝します。



今年の6月の中旬から、信者間に一つの話題があります。それは『ノア 約束の舟』という映画についてのものでした。『ノア 約束の舟』は、ダーレン・アロノフスキー監督のもとで、旧約聖書に書かれている「まさよこの日、ノアも、息子で生まれたばかりの孫たちの生「ノアの洪水」の物語に基づくのセム、ハム、ヤフェト、ノア死についての家族間の争いとい2014年のアメリカ合衆国の妻、この三人の息子の嫁たちうのも、映画にしかない一つの叙事的映画だと宣伝されたも、箱舟に入った。彼らと共に場面です。ここでは挙げきれません。

やはり聖書を信仰の書物とし畜、それぞれの地を這うもの、がまだあるかもしれません。一度旧約聖書を読んだことがあも、そのすべて、命の霊をもつ肉な書の記述は異なる部分がある、る方はノアとその出来事の一つるものは、二つずつノアのもとは言えます。しかし、『ノアの物語として簡単に覚えると思に、来て箱舟に入った。神が命じ約束の舟』はあくまでも映画見ます。しかし、実際に映画をられたとおりに、すべて肉なるで、一人の監督のもとで作られた人たちの間の意見が様々でもの雄と雌とが来た。主は、たものです。確かに聖書を知らず。というのは、映画に対してノアの後ろで戸を閉ざされた」ない方はこの映画を見て、映画肯定的な見方もあるとすれば、とあります。しかし、映画でを聖書の記述そのものだと思信し否定的な意見もあるのです。

実際の映画を見ますと、「ノに、彼の妻と三人の息子、しかし、忘れてはいけないのは、

『ノア 約束の舟』が教会、若しくは正式な教会の機関のもので、作られたものではなく、教会の名で正統な信仰を教育するためのものでもないということです。そのため、違和感を覚えたり、見るのを避けたりしなくともいいでしょう。1988年頃のアメリカの映画も多くのキリスト者を悩ませました。言い換えれば、たとえ『ノア 約束の舟』とか、『最後の誘惑』などといったような映画があっても、なくても、聖書の記述そのものは変わらないのです。『ノア 約束の舟』を見たことがきっかけで、旧約聖書の洪水の物語を読み直す方もいるかもしれません。

① 神こそは創造主であって、宇宙のあらゆるものに対して権威をもっています。
② 人間の行いや思いのすべては神の目の前で常に明らかにされています。
③ 「洪水」は「再生」のきっかけとなって、教会において「水による洗礼」を予告しています。
④ ノアの箱舟は後の教会の姿にあてはまるのです。つまり、教会という舟に乗ることによって救いを得られます。
⑤ 無垢なノアをとおして神に喜ばれるいけにえが供えられ、神と人類との契約が結ばれ、新たな世界が始まりました。同じように、罪のないイエス・キリストをとおして汚れのないいけにえが捧げられ、「神の民」が生まれ、新しい天と地も開かれています。つまり、ノアに対する人類のための神の約束はイエ

ス・キリストによって実現されるわけす。

『ノア 約束の舟』は以上の本来の洪水の物語の神学的な意味に触れませんでした。監督はこの一本の映画をとおして「人間」という名をもって勝手に自然環境を破壊したり、また神によって定められた宇宙の秩序に逆らったり、互いに自分のことを自分の手で解決しようとして、武器製造に走り・軍事結団をし、道徳などを完全に無視している人類に対して一つの警鐘を鳴らしているのではないのでしょうか。と同時に、過去の過ちから離れて秩序のある世界を始めようか、とわたしたちの一人ひとりを招いているという映画の執筆者の大きなメッセージを読み取ることができるのではないのでしょうか。

神はノアと彼の息子たちに言われた。

「わたしは、あなたたちと、そして後に続く子孫と、契約を立てる。・・・わたしがあなたたちと契約を立てたならば、二度と洪水によって肉なるものがことごとく滅ぼされることはなく、洪水が起こって地を滅ぼすことも決してない」（創9, 8-11）



7月6日

司祭団より

司祭の夏休み、黙想会
黙想会

フック師

7月13日～7月19日

マーティン師

7月27日～8月2日。

夏休み

フック師

8月17日～8月23日

マーティン師

8月24日～8月30日。

車両セレナ、エアコンの修理とタイヤのパンクで十数万の費用がかかった。

報告事項

月報ができるまで運営委員会から発行までの流れ

月曜日に編集。火曜日にインターネットへ掲載。水曜日に主任司祭確認、木曜・金曜で製本。土曜日に月報発行。

現状は、インターネットへ先に月報が掲載されてしまうので、ボグダン師が帰国後、印刷が終わってからインターネット

へ掲載で良いのではないかと確認する。

オルガン管理委員会より

6月14日にオルガン管理委員会を開催し、オルガン修理の寄付依頼の活動を開始した。

6月24日より南山学園の各単位校および法人団体への寄付依頼の訪問を行っており、8月まで予定している。個人の受け付けも開始。事務所にて受け付けており、現在2名からの寄付金あり。

オルガンの聖堂湿度管理の為に今後24時間エアコンをつけっぱなしにはしない。気温、湿度の2年分の記録から、オルガンに悪影響を及ぼす湿度70%以上になる日は年間数日であり、エアコン持続使用による湿度の改善の相関もみられないため、必要ない。

望月オルガンに今後の対策など、管理方法を聞いてみることにする。

初聖体について

6月22日9時半ミサの中で6名が初聖体を受けた。
信徒代表、教会学校、初聖体

を受けた子どもの父母から共同祈願があった。

救急法講習会の案内

7月20日開催予定
出席者が少ないので、声を掛け合って多くの参加者を募る。
(40名程度の参加者を予定)
日赤の方々に全てお任せして、進めてもらう。

その他

青年会・・・東北支援のためのグッズ販売についてアンケートの結果を配布。
パークカー、エプロン等を8月頃販売予定。

ポークイースカウト・・・バザーで42万円の売上。机が傷んでもあるので、買いかレンタルするか今後要検討だが、バザー委員会、秋のバザーの出店状況とレイアウトを考慮し、机の処分等を含め、検討も行っていただく。

審議・相談事項
避難訓練のまとめと役割分担
8月24日開催予定

資料を配布、昨年と同様に進める予定。役割分担について、実際の災害時に対応できるように毎年同じ担当ではどうか？
7月開催のヨセフ会班長会議

で協議する。
ごミサ中の災害は、この場で起こった災害への対応となるので、信徒の連携が最も重要である。緊急災害速報(地震を含むすべての災害)については、過誤の情報であったり、情報の遅延もあるのでは、各自の携帯電話への速報で知ることでの対応でよいのではと考える。

香部屋へFM受信機を設置しミサ中に情報を流すことは上記の理由を考慮し、今後の検討課題としたい。
携帯電話に入る緊急災害速報には、地震情報を含め、すべての災害情報が含まれる。下記は、参考までにインターネットから得られた情報である。

緊急速報メール

(きんききゅうそくほうめいる)
とは、緊急地震速報に加えて国や自治体が発信する「災害・避難情報」や「津波警報」などを携帯電話へ発信するサービスの

名称。KDDI、沖縄セルラー電話とソフトバンクモバイル・イー・アクセス・ウイルコムとの4グループが同一の名称でサービスを提供している。

敬老会の準備依頼

9月14日開催予定。

場所の確保は完了↓マリア館ホール

出し物・南山小学校のお琴演奏、教会学校、中高生会、小出さんの歌。

招待状の発送・事務所が対応、対象者約300名に発送。昨年実績は約40余名が参加。

8月初旬に招待状を発送。

食事の準備はマリア会が担当
設営はヨセフ会及び有志

敬老会後に歓談の場を設けてほしいという希望があったので、場を設ける。↓コーヒーショップの場所と、集会室1を借りる。

バザーの準備

テーマは7月6日現在で11の提案が集まった。運営委員会にて次のものに決定。「愛と愛で

つなげよう 世界と平和」

招待状にポスター・食券（コーヒー・ケーキ）を添えて、27か所と教会近隣に発送予定。

食券をすべてに交換できる金券にするかの検討もなされているが、今後の検討を待つ。

出店依頼・昨年の出店者には連絡済。今年はセカンドハーベストは出店せず。

万引き、支払額のごまかし等があるので、高価な商品については注意する必要がある。

四旬節の黙想会の依頼

聖パウロ修道会鈴木神父様への依頼状発送について書面の中身を確認した。

その他

マリア会の東日本大震災支援ミニバザーを2011年9月より開催してきたことの報告が、運営してきた有志の方からあった。

2011年度…約20万円、
2012年度…約40万円、
2013年度…約54万円。

トータルで約114万円をカリタスジャパンへ送金した。

各会報告

典礼委員会

平和の祈り関係
8月6日(水) 8時

大聖堂にてミサ
8月9日(土) 10時45分
聖体賛美式

8月15日(金) 聖母の被昇天
10時、19時 大聖堂でミサ

8月17日(日) 9時半ミサ前
聖母行列
(被昇天を記念して)

9月14日(日) 十字架称賛

ボーイスカウト

8月14日(木)～16日(土)
夏期野舎営訓練

高遠青少年自然の家
参加予定者約30名

青年会

7月13日、7月27日 14時から
青年会開催。

教会学校

6月22日 6名の初聖体
7月13日 終業式・保護者会
8月8日～10日

キャンプ 西村自然農園にて
レジオ・マリエ

定期的に病院訪問、老人施設への慰問、聖堂の花のお世話、教会学校のリーダーなどの奉仕を行っている。

次回は9月7日

【中高生会より】

中高生会親子親睦会
8月23日(土) 17時ミサ参加後、中庭にてBBQをします。中高生の皆さん、保護者の皆様、ご参加ください

南山句会

平成二十六年六月四日



壮大な詩編のひびき夏の朝

エリカ咲く旧約偲ぶシヤガール展

あぢさみの雨に濡れゐて今朝の窓

蒼天や都心の軒の燕の巢

話題の書一気に読みて夕薄暑

リズムよく庭師二代目松手入れ

麦秋や旅の朝は彌撒のころ

薫風やお告げの鐘の響む丘

インコース狙ふは誰か汗光る

せつ子

美智子

眞喜子

紀子

瑞子

とく子

義子

聖子

豊子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

アウグスチヌス 星野 貞司

転入

ようこそ

マリア・幼きイエスのテレジア 平野 悦子
(城北橋教会)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

ヨゼフ・アンブロジオ 山森 保明 (70歳)
アウグスチヌス 星野 貞司 (64歳)

転出

いつまでもお元気で

マリア 野口 あゆみ (葛西教会)

教会維持費

6月は1,627,309円の維持費が納められました。ありがとうございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしく願います。

2014年7月・8月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月		20(日)救急講習会	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)11:00 運営委員会 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会班長会 13(日)教会学校終業式 19(土)10:30子ども部屋 20(日)中高生会終業式 26(土)要約筆記付きミサ	6(日)司教叙階・金銀祝 17(木)司祭協議会 20(日)障害者の集い
8月	6(水)主の変容 15(金)聖母の被昇天	6(水)8:00平和の祈り(ミサ) 9(土)10:00平和の祈り(聖体礼拝) 17(日)聖母被昇天祭(聖母行列) 24(日)避難訓練	8(金)~10(日)教会学校夏期キャンプ 23(土)要約筆記付きミサ	(木)~(日)侍者会(神言神学院) 6(月)~15(水)平和旬間